

学校経営方針
松陽教育の進め方

学校教育目標

自分の夢に挑戦し、
仲間と共に高め合い、
よりよく生きようとする子どもの育成

目指す子ども像

なりたい自分に向かい、自ら進んで行動する子ども（主体性）

仲間とつながり、互いを尊重し協力し合う子ども（協調性）

自主的・実践的な態度で、集団活動に取り組む子ども（社会性）

- ・自己有用感や自己肯定感等を高め、自己を活かそうとする力を育てる。
- ・相手のよさを認め、思いやりを大切にして行動する力を育てる。
- ・自分の役割や責任を果たしたり、集団で協力して解決したりする力を育てる。
- ・きまりや約束を守り、正しく判断して行動する力を育てる。
- ・かけがえのない自他のいのちを大切にする力を育てる。

- 1 松陽教育の中核に据える7つの教育活動<松陽007: Shoyo Seven>
- (1) 児童の学びの力を高める授業づくり、家庭学習づくりの推進（確かな学力）
 - (2) 一人一人を徹底的に大切にされる存在に育てる人権教育の充実（確かな学力・豊かな心）
 - (3) 成長を促す指導、予防的な指導、課題解決的な指導の充実を図る生徒指導の推進（豊かな心）
 - (4) 自主的・実践的な態度と自己を生かす能力を育てる特別活動の充実（豊かな心）
 - (5) 児童の実態に応じて内容の重点化を図った道徳教育の充実（豊かな心）
 - (6) 健康な心身と安全な生活をつくる健康・安全教育の充実（健やかな体）
 - (7) 児童が明るく生き生きと生活できる教育環境整備の推進（確かな学力・豊かな心・健やかな体）

2 「松陽 007」の具現化に向けての取組

(1) 児童の学びの力を高める授業づくり, 家庭学習づくりの推進（確かな学力）

- ◎子ども同士の学び合いの場を確かなものとするために言語活動を重視し, 子どもが主体的に学習に取り組む授業づくりを進める。
- ◎授業のユニバーサルデザイン化を推進し, 松陽の児童の実態に即した授業づくりを行う。
- ◎基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにし, すべての児童に学習基盤の確立を図る。
- ◎学年の段階を踏まえた家庭学習の仕方を示し, 自学自習の力を育てる家庭学習の充実を図る。
- ◎各種研修会や指導講座等に積極的に参加し, 授業力・指導力の向上に主体的に取り組む。
- ◎若年教員の教育力の向上を図るために, 松陽若葉会や入り込み指導を実施する。

(2) 一人一人を徹底的に大切にされる存在に育てる人権教育の充実（確かな学力・豊かな心）

- ◎人権尊重の基盤となる信頼関係を構築し, よりよい人間関係を形成する集団活動を推進する。
- ◎児童の将来を見据え, すべての児童の自己実現につながる取組の充実を図る。
- ◎人権を尊重する社会の担い手を育てる取組の工夫と充実を図り, 行動化に結び付く力を育てる。

(3) 成長を促す指導, 予防的な指導, 課題解決的な指導の充実を図る生徒指導の推進（豊かな心）

- ◎一人一人の子どもを大切にし, 子ども理解を基盤にした指導の充実を図る。
- ◎子どもの居場所づくり, 子ども同士の絆づくりを推進し, いじめや不登校の防止に努める。

(4) 自主的・実践的な態度と自己を生かす能力を育てる特別活動の充実（豊かな心）

- ◎学級や学校の生活づくりのために自己の役割や責任を果たす態度, 多様な他者と互いのよさを認め合って協力する態度, 規律を守る態度などの社会性の基礎を育成する。
 - *集団の一員として「役に立とう・貢献しよう」とする実践意欲と実行力を育てる活動を進める。
 - *集団活動を通して, 違いや多様性を認め合い, 合意形成する力を育てる活動を進める
 - *子どもの内面にある公徳心や正義感と向き合させ, 自覚し態度化する指導の徹底を図る。
- ◎自分たちの学級生活を楽しくするために, 議題を見付けて話し合い, 協力して実践する活動を推進する。
 - *発達段階に即した指導の目安を明確にし, 全教職員の共通理解を図りながら取り組む。
 - *学級会コーナーを全学級にも共通に設置し, 学級の生活づくりへの意欲を高める。
 - *楽しく豊かな学校・学級生活をつくるために, 活動内容を工夫した係活動・委員会活動を推進する。
 - *水曜日の清掃時間と基礎基本タイムを合わせた25分間を特別活動の時間（松陽タイム）にあてる。
- ◎課題を明確にして, 子ども・学級の変容に粘り強く働きかける実践活動を推進する。
 - *学級活動(2)における「日常の生活や学習への適応」について, 集団思考を生かした指導の充実を図り, 自己目標の実現に向けた実践を進めることを通して, 自己指導能力の育成を図る。
 - *規範意識の育成の加点から, 「きまりや約束」についての課題を自己の問題としてとらえ, 問題解決につなげようとする意欲を育てる。
 - *自己有用感や自己存在感を育てる観点から, 当番活動や係活動, 委員会活動などで担った役割を果たす活動を充実し, 役割や責任をしっかりと果たす子どもを育てる指導を徹底する。
 - *いじめを許さない児童相互の絆づくりを進める観点から, 学級活動や異年齢交流活動等を通して温かい人間関係を築く力を育てる指導を充実する。
- ◎支援や配慮が必要な児童を取り巻く支持的な学級集団を創造する。
 - *学級会や実践活動において人間関係に関わるねらいを設定し, 意図的・計画的な実践を重ねる。
 - *集団のよさを実感できるような活動を意図的に仕組み, 温かな人間関係を感じられるような「空気」をつくる。

(5) 児童の実態に応じて内容の重点化を図った道徳教育の充実（豊かな心）

◎目指す子ども像の実現に向けて、道徳的価値を大切にする心を育てる指導の充実を図る。

*特別活動と道徳の授業との関連を意識して指導の充実を図る。

*多様な実践活動や体験活動を生かして、道徳的価値の理解を深めたり態度化したりする。

*特に道徳の授業は、各時間のねらいを明確にし、板書等で効果的な指導を工夫して、その充実を図る。

*道徳科の充実と生徒指導の観点から全学年で、学年担任が道徳の授業の持ち回り指導を行う。

*各学年に道徳掲示板を設け、月1回のペースで道徳の授業の板書や児童の考え方等を掲示する。

(6) 健康な心身と安全な生活をつくる健康・安全教育の充実（健やかな体）

◎遊びや運動及び望ましい生活習慣の実践を通して、明るく生き生きと生活できる力の育成を図る。

◎飲酒や喫煙、薬物乱用等の有害性についての正しい知識と危険な行為から自らを守る方法などについて、子どもの発達の段階に応じた指導の充実を図る。

◎食物アレルギー等に適切に対応したり、安全・防災教育の充実に努めたりして、児童の学校生活を安心安全なものにする。

(7) 児童が明るく生き生きと生活できる教育環境整備の推進（確かな学力・豊かな心・健やかな体）

◎明るい雰囲気をつくる校舎にするための環境美化を推進する。

*ホールと北校舎の廊下・階段のペンキ塗りを教職員作業で行う。

*多目的室の有効かつ効果的な活用を目指し、教具や備品等の整理や教室整備を行う。

*南校舎のトイレの整備を申請するとともに、衛生管理に努める。

◎学びのユニバーサルデザイン化を図るための環境整備を推進する。

*学年掲示板の活用の仕方についての共通理解を図る。（廊下・階段の掲示板や道徳掲示板等）

*掲示物等の教室環境を学年段階に応じて系統的に工夫して統一感をもたせる。（学級活動コーナー等）

*靴箱・ロッカーなどの使い方、提出物の出し方等についての指導をそろえる。

3 その他の重点的な取組

(1) 「つばさ園」「ももの木学園」との連携を図る取組

◎「つばさ・ももの木」連絡会や学習相談の充実を図り、情報共有を確実にすることで、当該児童の「生きる力」の育成を意識した教育活動を確かなものとする。

(2) 児童一人一人の教育的ニーズに応じた組織的な取組

◎教務部と学年・学級との協力指導体制を工夫し、子どもや保護者の様々な課題を担任が一人で抱え込まないように留意する。

◎家庭や関係機関と連携し、子どもや保護者の様々な困りに対応する支援のあり方を工夫する。

(3) 地域力を生かす学校運営協議会の取組の推進

◎従来の取組を整理して発展的な充実を図る。

◎学校・家庭・地域が連携して、「チーム松陽」の取組を進める。

(4) 小中一貫・小小連携の取組（樺原中学校・樺原小学校・松陽小学校）

◎児童生徒の小中9カ年を見通した教育活動の充実と推進を図る。

特別活動に重点をおいた平成 28 年度の松陽教育

